



2022年9月15日

各位

会社名 株式会社フェローテックホールディングス
代表者名 代表取締役社長 賀 賢 漢
(コード番号：6890 東証スタンダード市場)
問合わせ先 I R 室 長 野 田 耕 一
(0 3 - 3 2 8 1 - 8 1 8 6)

**半導体製造用部材（石英坩堝、シリコンパーツ）製造子会社による上場申請市場
及び上場アドバイザー契約先の変更に関するお知らせ**

株式会社フェローテックホールディングス（代表取締役社長 賀 賢漢、以下「当社」）は、本日の取締役会において、中国で上場を目指す当社の半導体製造用部材（石英坩堝、シリコンパーツ）製造子会社である寧夏盾源聚芯半導体科技股份有限公司（以下、「FTNC」）の上場申請市場及び上場アドバイザー契約先を変更することを決定したので、以下の通りお知らせします。

記

1. 今回変更内容と理由

	変更内容	変更前	変更後
(1)	上 場 申 請 市 場	上海証券取引所 科創板市場 (以下、「科創板」)	深セン証券取引所 主板市場 (以下、「深セン主板」)
(2)	上場アドバイザー契約先	光大証券股份有限公司 (以下、「光大証券」)	東方証券承销保荐有限公司 (以下、「東方証券承销保荐」)

(1) 上場申請市場の変更について

- FTNC は当初科創板での上場を目指しておりましたが、検討の結果、科創板の上場要件の一つである「研究開発人員の比率が全従業員の10%以上」をすぐには充足できないと判断しました。
背景としては、FTNC の事業が非常に好調であり、顧客の増産要求に応えるため生産人員を大幅に増加させており、今後も生産人員の増加を継続する見通しであることによります。
- そこで、上場市場変更の検討過程で、深セン証券取引所創業板（以下、「創業板」）と深セン証券取引所主板市場（以下、「深セン主板」）をアドバイザーとも協議した際、
 - 深セン主板の方が創業板よりも審査が厳しいが、FTNC は業績好調であり、深セン主板の上場の主要要件である「三年連続で黒字」や諸要件を充足していることから、深セン主板、創業板どちらでも上場申請が可能であること（他のIPO企業は損益基準を満たせず、創業板しか選択できない）。
 - 2022年8月時点での深セン主板のIPO申請中企業数は創業板の半数程度であり、もし要件を満たしているのであれば順番待ちの面では上場手続期間の短縮が期待できること。という状況判断もあり、深セン主板への上場申請に変更する旨決定致しました。

(2) 上場アドバイザー契約先変更について

- 当初の上場アドバイザーである光大証券内での組織体制の変更があったこと、および審査の厳しい深セン主板へ上場市場変更を行うにあたり、FTNC はより強固な投資銀行業務を行う東方証券グループをアドバイザーとすることが適切であると判断したことが変更の理由です。

2. 変更後の上場アドバイザー契約先の概要

(1)	名 称	東方証券承销保荐有限公司（上海・香港上場の東方証券の子会社）
(2)	所 在 地	中国上海市黄浦区中山南路 318 号 24 层
(3)	代表者の役職・氏名	董事長 金 文忠
(4)	事 業 内 容	証券引受・スポンサー業務、その他証監会が認める業務
(5)	資 本 金	8 億中国元（約 166 億円） ※ 1 中国元=20.74 円
(6)	設 立 年 月 日	2012 年 6 月 4 日

3. 上場申請会社の概要（2022 年 6 月 30 日現在）

(1)	名 称	寧夏盾源聚芯半導体科技股份有限公司 (FTNC)	
(2)	所 在 地	中国寧夏回族自治区銀川市西夏区經濟技術開發区光明西路 23 号	
(3)	代表者の役職・氏名	董事長 賀 賢漢	
(4)	事 業 内 容	半導体製造用部材（石英坩堝、シリコンパーツ）製造・販売	
(5)	資 本 金	187,144 千中国元（約 39 億円） ※ 1 中国元=20.74 円	
(6)	設 立 年 月 日	2011 年 4 月 20 日	
(7)	大株主及び持ち分比率	杭州大和熱磁電子有限公司（FTH、当社 100%連結子会社）：60.13%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社連結子会社である FTH が議決権の 60.13% を保有する子会社
		人 的 関 係	当社の取締役 1 名が同社の董事を兼任
		取 引 関 係	該当事項はありません

4. 今後の予定と見通し

FTNC は 2022 年 10~12 月に上場申請を行う予定です。

なお、本件が当社の今期連結業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上